

大学番号：私017

注3

届出

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東北学院  
平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 法人事務局庶務部庶務課

職名・氏名 ショムカチヨウ ミズノ トオル  
庶務課長 水野 徹

電話番号 022-264-6464

（夜間） 022-264-6464

F A X 022-264-6458

e-mail h-shomu@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

## 工学部

<情報基盤工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人東北学院

## (2) 大学名

東北学院大学

## (3) 大学の位置

〒985-8537

宮城県多賀城市中央一丁目13番1号

(〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( マツモト ノリオ ) 松本 宣郎 (平成28年4月)		
学長	( マツモト ノリオ ) 松本 宣郎 (平成28年4月)		
学部長	( ナカザワ マサトシ ) 中沢 正利 (平成26年4月)	( ナカザワ マサトシ ) 中沢 正利 (平成29年4月)	工学部長に再任 (29)
学科長等	( シコダ アリミツ ) 志子田 有光 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 情報基盤工学科  学士(工学)	工学関係	4年	110人	5年次人	450人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 110 (-) [1]	人	人 110 (-) [1]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	人	1.02倍
志願者数	530 (-) [0]	(-) [-]	464 (-) [0]	(-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
受験者数	519 (-) [0]	(-) [-]	449 (-) [0]	(-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
合格者数	221 (-) [0]	(-) [-]	264 (-) [0]	(-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
B 入学者数	116 (-) [0]	(-) [-]	109 (-) [0]	(-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
入学定員超過率 B/A	1.05		0.99							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	116 (-) [-]	- (-) [-]	109 (-) [-]	- (-) [-]	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		116 (-) [-]	- (-) [-]	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	116 (-) [-]		225 (-) [-]		[ ] ( )		[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	116 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	225 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	341 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{225} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

<工学部 情報基盤工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(第1類 教養教育科目 人間的基礎)	聖書を学ぶ	1前	2								1
	キリスト教の歴史と思想	1後	2								1
	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	3後		2							1
	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	3後		2							1
	キリスト教学C(キリスト教と文化)	3前		2							1
	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	3前		2							1
	市民社会を生きる	1前		2							1
	地球社会を生きる	1前		2							1
	科学技術社会を生きる	1前		2							1
	キャリア形成と大学生活	1前		2		1					1
(第1類 教養教育科目 知的基礎)	クリティカル・シンキング	1後		2		1					1
	数理的思考の基礎	1前		2		1					1
	統計的思考の基礎	1前		2		1					1
	科学的思考の基礎	1前		2							1
	情報化社会の基礎	1前		2							1
	メディア・リテラシー	1前		2							1
	読解・作文の技法	1前		2		1					1
	研究・発表の技法	2前		2		1					1
(第2類 教養教育科目 人文社会)	哲学	2前		2							1
	芸術論	1前		2							1
	歴史学	2前		2							1
	心理学	2前		2							1
	社会学	2前		2							1
	経済学	2前		2							1
	経営学	2後		2							1
	法学	2後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	東北地域論	2後		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(TGベリック 教養教育科目 人間的基礎)	聖書を学ぶ	1前	2									1
	キリスト教の歴史と思想	1後	2									1
	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	3後		2								1
	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	3後		2								1
	キリスト教学C(キリスト教と文化)	3前		2								1
	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	3前		2								1
	市民社会を生きる	1前		2								1
	地球社会を生きる	1前		2								1
	科学技術社会を生きる	1前		2								1
	キャリア形成と大学生活	1前		2								1
(TGベリック 教養教育科目 知的基礎)	クリティカル・シンキング	1前		2		1						1
	数理的思考の基礎	1前		2				1				1
	統計的思考の基礎	1前		2				1				1
	科学的思考の基礎	1前		2								1
	情報化社会の基礎	1前		2				1				1
	メディア・リテラシー	1後		2								1
	読解・作文の技法	1前		2		1						1
	研究・発表の技法	2前		2				1				1
(学科教養科目 人文社会)	哲学	2前		2								1
	芸術論	1前		2								1
	歴史学	2前		2								1
	心理学	2前		2								1
	社会学	2前		2								1
	経済学	2前		2								1
	経営学	2後		2								1
	法学	2前		2								1
	日本国憲法	1前		2								1
	東北地域論	2後		2								1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(第2類 教養教育科目 自然科学)	健康の科学	2後		2							1
	生命の科学	1後		2							1
	情報リテラシー	1前	2			1	1				
	フレッシュパーソンセミナー	1前	1			1					
	基礎数学演習	1前		1		2					
	基礎物理演習	1後		1		1	1				
	基礎化学演習	1後		1							1
	技術者倫理	1後		2							1
知的所有権	3前		2							1	
地域教育科目	震災と復興	1前		2							10
	地域の課題Ⅰ	2前	2								1
	地域の課題Ⅱ	2後		2							1
	地域課題演習	3通		4							1
(第1類 外国語科目)	英語ⅠA	1前	1								3
	英語ⅠB	1後	1								3
	英語ⅡA	2前	1								3
	英語ⅡB	2後	1								3
	英語コミュニケーションズ	2後		2							1
(第2類 外国語科目)	ドイツ語	1前		2							1
	フランス語	1後		2							1
	中国語	1前		2							1
	韓国・朝鮮語	1後		2							1
保健体育科目	体育講義	1後		2							1
	スポーツ実技	1通		2							4
外国人留学生科目(第1類)	日本事情A	1前		2							1
	日本事情B	1前		2							1
	日本事情C	1後		2							1
外国人留学生科目(第2類)	日本語Ⅰ	1前		2							1
	日本語Ⅱ	2通		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(学教科教養科目 自然科学)	健康の科学	2後		2							1
	生命の科学	1後		2							1
	情報リテラシー	1前	2			1	1				
	フレッシュパーソンセミナー	1前	1			1	1	1			
	基礎数学演習	1前		1		1		1			
	基礎物理演習	1前		1			1	1			
	基礎化学演習	1前		1							1
	技術者倫理	1後		2							1
知的所有権	3前		2							1	
地域教育科目	震災と復興	1後		2							6
	地域の課題Ⅰ	2前	2								6
	地域の課題Ⅱ	2後		2							1
	地域課題演習	3通		4							1
(第1類 外国語科目)	英語ⅠA	1前	1								7
	英語ⅠB	1後	1								7
	英語ⅡA	2前	1								6
	英語ⅡB	2後	1								3
	英語コミュニケーションズ	2後		2							1
(第2類 外国語科目)	ドイツ語	1後		2							1
	フランス語	1後		2							1
	中国語	1前		2							1
	韓国・朝鮮語	1後		2							1
(第3類 外国語科目)	ベーシック英語	1前		1							1
	英語Ⅲ	3前		1							1
保健体育科目	体育講義	1後		2							1
	スポーツ実技	1通		2							3
外国人留学生科目(第1類)	日本事情A	1前		2							1
	日本事情B	1前		2							1
	日本事情C	1後		2							1
外国人留学生科目(第2類)	日本語ⅠA	1前		1							1
	日本語ⅠB	1後		1							1
	日本語ⅡA	2前		1							1
	日本語ⅡB	2後		1							1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通専門科目	物理学 I	1後	2			1						
	物理学 II	2前		2		1						
	微分積分学 I	1前	2			1						
	微分積分学 II	1後	2			1						
	線形代数学	1前	2			1						
	自然科学実験ファンダメンタルズ	1後		2		1	1					3
	微分方程式	2前		2		1						
	フーリエ解析	2後		2		1						
	確率統計学	2後		2		1						
	プログラミング基礎	2前	2			2						
	プログラミング応用	2後		2		1	1					
	工業英語	3前		2		1						
	工学総合演習 I	2後	1			1	1					
	工学総合演習 II	3後	1			1	1					
	ジュニアセミナー	3後	2			8	3					
	卒業研究 I	4前	3			8	3					
	卒業研究 II	4後	3			8	3					
	学外見学	3後		1			1					
	インターンシップ	3後		1		1						
	キャリア・デザイン	3前		2		1						
海外研究 I	2前		2								1	
海外研究 II	2後		2								1	
学科専門科目 (情報基盤工学基礎科目群)	情報数理演習 I (線形代数学)	1前	1				1					
	情報数理演習 II (微分積分学 I)	1前	1			1						
	情報数理演習 III (微分積分学 II)	1後	1				1					
	確率統計学演習	2後	1				1					
	情報数学	2後	2				1					
	情報数学演習	2後	1				1					
	応用線形代数学	1後	2			1						
	応用線形代数学演習	1後	1			1						
	情報理論	2前	2				1					
	情報理論演習	2前	1				2					
	符号理論	3後		2			1					
	最適化法	2後		2		1						
信号処理工学	3前		2		1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通専門科目	物理学 I	1後	2			1						
	物理学 II	2前		2		1						
	微分積分学 I	1前	2			1			1			1
	微分積分学 II	1後	2			1			1			
	線形代数学	1前	2			1						
	自然科学実験ファンダメンタルズ	1後		2		1	1					4
	微分方程式	2前		2		1						
	フーリエ解析	2後		2		1						
	確率統計学	2後		2		1						
	プログラミング基礎	1後	2						1			
	プログラミング応用	2前		2		1			1			
	工業英語	3前		2		1						
	工学総合演習 I	2後	1			1	1					
	工学総合演習 II	3後	1			1	1					
	ジュニアセミナー	3後	2			8	2	1				
	卒業研究 I	4前	3			8	2	1				
	卒業研究 II	4後	3			8	2	1				
	学外見学	3後		1			1					
	インターンシップ	3後		1		1						
	キャリア・デザイン	3前		2		1						
海外研究 I	2前		2								1	
海外研究 II	2後		2								1	
情報基盤工学基礎科目群	情報数理演習 I (線形代数学)	1前	1				2					
	情報数理演習 II (微分積分学 I)	1前	1				1	1				
	情報数理演習 III (微分積分学 II)	1後	1				1	1				
	確率統計学演習	2後	1				1					
	情報数学	2後	2				1					
	情報数学演習	2後	1				1					
	応用線形代数学	1後	2			1						
	応用線形代数学演習	1後	1			1		1				
	情報理論	2前	2				1					
	情報理論演習	2前	1				1	1				
	符号理論	3後		2			1					
	最適化法	2後		2		1						
信号処理工学	3前		2		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目 (情報工学科目群)	情報工学基礎	1前	2			1						
	データサイエンス	3前	2			1						
	データサイエンス演習	3前	1			1						
	アルゴリズム論	2後	2				1					
	アルゴリズム論演習	2後	1				1					
	ソフトウェア開発演習I	2前	2			2	1					
	ソフトウェア開発演習II	2後	2			1	1					
	シミュレーション工学	4前	2			1						
	センサネットワーク工学	3後	2			1						
	人工知能	3後	2			1						
	デジタル回路設計	2前	2			1						
情報セキュリティ工学	3後	2			1							
オペレーティングシステム論	4前	2				1						
学科専門科目 (通信工学科目群)	情報通信工学	3前	2			1						
	通信システム工学	3後	2			1						
	インターネット工学	3前	2				1					
	インターネット工学演習	3後	1				1					
	電気電子計測	3前	2			1						
	通信工学基礎I	2前	2			1						
	通信工学基礎II	2前	2			1						
	通信工学基礎III	2後	2			1						
	通信工学基礎演習	2後	1			2						
	電磁波工学	3後	2			1						
	情報通信法規	4前	2			1						
情報通信工学実験I	3前	2			4							
情報通信工学実験II	3後	2			3	1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目 (情報工学科目群)	情報工学基礎	1前	2			1						
	データサイエンス	3前	2			1						
	データサイエンス演習	3前	1			1						
	アルゴリズム論	2後	2				1					
	アルゴリズム論演習	2後	1				1					
	ソフトウェア開発演習I	2前	2			2	1					
	ソフトウェア開発演習II	2後	2			1	1					
	シミュレーション工学	4前	2			1						
	センサネットワーク工学	3後	2			1						
	人工知能	3後	2			1						
	デジタル回路設計	2前	2			1						
情報セキュリティ工学	3後	2			1							
オペレーティングシステム論	4前	2							1			
学科専門科目 (通信工学科目群)	情報通信工学	3前	2			1						
	通信システム工学	3後	2			1						
	インターネット工学	3前	2				1					
	インターネット工学演習	3後	1				1					
	電気電子計測	3前	2			1						
	通信工学基礎I	2前	2			1						
	通信工学基礎II	2前	2			1						
	通信工学基礎III	2後	2			1						
	通信工学基礎演習	2後	1			2						
	電磁波工学	3後	2			1						
	情報通信法規	4前	2			1						
情報通信工学実験I	3前	2			4							
情報通信工学実験II	3後	2			3	1						
教育に 関する 科目 の 科目	工業技術概論	4前	2									1
	工科系の職業指導	4前	2									1
	情報基盤系の職業指導	4後	2									1
教職等 に 関する 科目	現代教職論	1前	2									1
	教育原理	1通	4									1
	教育心理学	2後	2									1
	教育課程論	2前	2									1
	教科教育法I(工業)	3前	2									1
	教科教育法III(工業)	3後	2									1
	特別活動の理論と方法	3前	2									1
教育方法	2前	2									1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職等に関する科目	教育の相談と指導Ⅰ	2前		2								1
	教育の相談と指導Ⅱ	2後		2								1
	教育実習Ⅰ	4通		3								1
	教職実践演習(中・高)	4後		2								1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(TGベリック) 教養教育科目 人間的基礎)	聖書を学ぶ	1前	2								2
	キリスト教の歴史と思想	1後	2								1
	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	3後		2							1
	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	3後		2							1
	キリスト教学C(キリスト教と文化)	3前		2							1
	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	3前		2							1
	市民社会を生きる	1前		2							1
	地球社会を生きる	1前		2							1
	科学技術社会を生きる	1前		2							1
キャリア形成と大学生活	1前		2							1	
(TGベリック) 教養教育科目 知的基礎)	クリティカル・シンキング	1前		2		1					
	数理的思考の基礎	1前		2			1				
	統計的思考の基礎	1前		2			1				
	科学的思考の基礎	1前		2							1
	情報化社会の基礎	1前		2			1				1
	メディア・リテラシー	1後		2							1
	読解・作文の技法	1前		2		1					
研究・発表の技法	2前		2		1						
(学科教養科目) 人文社会)	哲学	2前		2							1
	芸術論	1前		2							1
	歴史学	2前		2							1
	心理学	2前		2							1
	社会学	2前		2							1
	経済学	2前		2							1
	経営学	2後		2							1
	法学	2前		2							1
	日本国憲法	1前		2							1
東北地域論	2後		2							1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(学 科 教 養 科 目 教 養 教 育 科 目 自 然 科 学 )	健康の科学	2後		2								1
	生命の科学	1後		2								1
	情報リテラシー	1前	2			1	1					
	フレッシュパーソン セミナー	1前・後	1			1	1	1				
	基礎数学演習	1前		1		1		1				
	基礎物理演習	1前		1			1	1				
	基礎化学演習	1前		1								1
	技術者倫理	1後		2								1
知的所有権	3前		2								1	
地 域 教 育 科 目	震災と復興	1後		2								6
	地域の課題Ⅰ	2前	2									1
	地域の課題Ⅱ	2後		2								1
	地域課題演習	3通		4								1
(外 国 語 科 目 第 1 類 )	英語ⅠA	1前・後	1									7
	英語ⅠB	1後	1									3
	英語ⅡA	2前	1									3
	英語ⅡB	2後	1									3
	英語コミュニケーションズ	2後		2								1
(外 国 語 科 目 第 2 類 )	ドイツ語	1後		2								1
	フランス語	1後		2								1
	中国語	1前		2								1
	韓国・朝鮮語	1後		2								1
(外 国 語 科 目 第 3 類 )	ベーシック英語	1前		1								1
	英語Ⅲ	3前		1								1
保 健 体 育 科 目	体育講義	1後		2								1
	スポーツ実技	1通		2								3
外 国 人 留 学 生 科 目 (第 1 類 )	日本事情A	1前		2								1
	日本事情B	1前		2								1
	日本事情C	1後		2								1
外 国 人 留 学 生 科 目 (第 2 類 )	日本語ⅠA	1前		1								1
	日本語ⅠB	1後		1								1
	日本語ⅡA	2前		1								1
	日本語ⅡB	2後		1								1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通専門科目	物理学 I	1後	2			1						
	物理学 II	2前		2		1						
	微分積分学 I	1後	2			1		1			1	
	微分積分学 II	1後	2			1						
	線形代数学	1前	2			1						
	自然科学実験ファンダメンタルズ	1後		2		1	1					3
	微分方程式	2前		2		1						
	フーリエ解析	2後		2		1						
	確率統計学	2後		2		1						
	プログラミング基礎	1後	2			2						
	プログラミング応用	2前		2		1		1				
	工業英語	3前		2		1						
	工学総合演習 I	2後	1			1	1					
	工学総合演習 II	3後	1			1	1					
	ジュニアセミナー	3後	2			8	2	1				
	卒業研究 I	4前	3			8	2	1				
	卒業研究 II	4後	3			8	2	1				
	学外見学	3後		1			1					
	インターンシップ	3後		1		1						
	キャリア・デザイン	3前		2		1						
海外研究 I	2前		2								1	
海外研究 II	2後		2								1	
情報基盤工学基礎科目群	情報数理演習 I (線形代数学)	1前	1				2					
	情報数理演習 II (微分積分学 I)	1前	1				1	1				
	情報数理演習 III (微分積分学 II)	1後	1				1					
	確率統計学演習	2後	1				1					
	情報数学	2後	2				1					
	情報数学演習	2後	1				1					
	応用線形代数学	1後	2			1						
	応用線形代数学演習	1後	1			1						
	情報理論	2前	2				1					
	情報理論演習	2前	1				2					
	符号理論	3後		2			1					
	最適化法	2後		2			1					
	信号処理工学	3前		2			1					



【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
学科専門科目 (情報工学科目群)	情報工学基礎	1前	2			1					
	データサイエンス	3前	2			1					
	データサイエンス演習	3前	1			1					
	アルゴリズム論	2後	2				1				
	アルゴリズム論演習	2後	1				1				
	ソフトウェア開発演習I	2前	2			2	1				
	ソフトウェア開発演習II	2後	2			1	1				
	シミュレーション工学	4前	2			1					
	センサネットワーク工学	3後	2			1					
	人工知能	3後	2			1					
	デジタル回路設計	2前	2			1					
情報セキュリティ工学	3後	2			1						
オペレーティングシステム論	4前	2					1				
学科専門科目 (通信工学科目群)	情報通信工学	3前	2			1					
	通信システム工学	3後	2			1					
	インターネット工学	3前	2				1				
	インターネット工学演習	3後	1					1			
	電気電子計測	3前	2			1					
	通信工学基礎I	2前	2			1					
	通信工学基礎II	2前	2			1					
	通信工学基礎III	2後	2			1					
	通信工学基礎演習	2後	1			2					
	電磁波工学	3後	2			1					
	情報通信法規	4前	2			1					
	情報通信工学実験I	3前	2			4					
情報通信工学実験II	3後	2			4						
教育に 関する 科目の 教	工業技術概論	4前	2								1
	工科系の職業指導	4前	2								1
	情報基盤系の職業指導	4後	2								1
教職等 に関する 科目	現代教職論	1前	2								1
	教育原理	1通	4								1
	教育心理学	2後	2								1
	教育課程論	2前	2								1
	教科教育法I (工業)	3前	2								1
	教科教育法III (工業)	3後	2								1
	特別活動の理論 と方法	3前	2								1
	教育方法	2後	2								1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職等に関する科目	教育の相談と指導Ⅰ	2前		2							1
	教育の相談と指導Ⅱ	2後		2							1
	教育実習Ⅰ	4通		3							1
	教職実践演習(中・高)	4後		2							1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果の向上を目的とし、「聖書を学ぶ」に発展クラスを設けたため、担当者を兼任教授1名から兼任講師1名及び兼任教員1名に変更。
- ・専任教員の病気休職に伴い、「キャリア形成と大学生活」の専任教員等の配置を専任教授1名及び兼任教員1名から兼任教員1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「クリティカルシンキング」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「数理的思考の基礎」の担当者を専任教授1名及び兼任教員1名から専任准教授1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「統計的思考の基礎」の担当者を専任教授1名から専任准教授1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「科学的思考の基礎」の担当者を兼任教授1名から兼任教員1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報化社会の基礎」の担当者を兼任教員1名から専任准教授1名及び兼任教授1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「メディア・リテラシー」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「芸術論」の担当者を兼任教員1名から兼任教授1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「法学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「日本国憲法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「フレッシュパーソンセミナー」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。併せて、担当者に専任准教授1名、専任講師1名を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「基礎数学演習」の担当者を専任教授2名から専任教授1名1名専任講師1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「基礎物理演習」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。併せて、担当者を専任教授1名及び専任准教授1名から専任准教授1名及び専任講師1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「基礎化学演習」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。併せて、担当者を兼任准教授1名から兼任教員1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「震災と復興」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。併せて、10名と誤記載の科目担当者を兼任教授3名、兼任准教授1名、兼任助教1名及び兼任教員1名の計6名に修正。
- ・教育課程編成上の都合により、「英語ⅠA」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。併せて、担当者を兼任教授1名及び兼任教員2名から兼任准教授2名及び兼任教員5名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「ドイツ語」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・全学的な教育課程編成により、「ベーシック英語」を新規科目として追加。(配当年次「1前」、兼任准教授)
- ・全学的な教育課程編成により、「英語Ⅲ」を新規科目として追加。(配当年次「3前」、兼任准教授)
- ・教育課程編成上の都合により、「スポーツ実技」の担当者を兼任准教授1名、兼任教員3名から兼任准教授1名、兼任教員2名に変更。
- ・全学的な教育課程編成により、「日本語Ⅰ」を「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」にそれぞれ科目分割。科目担当者は変更無し。
- ・全学的な教育課程編成により、「日本語Ⅱ」を「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」にそれぞれ科目分割。科目担当者は変更無し。
- ・教育課程編成上の都合により、「微分積分学Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。併せて、担当者に専任講師1名及び兼任教員1名を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「プログラミング基礎」の配当年次を「2前」から「1後」に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「プログラミング応用」の担当者を専任講師1名に変更。併せて、配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「工学総合演習Ⅰ」の担当者を専任准教授1名に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「ジュニアセミナー」の担当者を専任講師1名に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「卒業研究Ⅰ」の担当者を専任講師1名に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「卒業研究Ⅱ」の担当者を専任講師1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報数理演習Ⅰ(線形代数)」の担当者を専任准教授1名を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報数理演習Ⅱ(微分積分学Ⅰ)」の担当者を専任教授1名から専任准教授1名及び専任講師1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報数理演習Ⅲ(微分積分学Ⅱ)」の担当者に専任講師1名を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報工学基礎」の担当者を変更。(専任教授1名)
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「ソフトウェア開発演習Ⅱ」の担当者を専任准教授1名に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「オペレーティングシステム論」の担当者を専任講師1名に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「インターネット工学」の担当者を専任准教授1名に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「インターネット工学演習」の担当者を専任講師1名に変更。
- ・専任准教授1名の就任辞退に伴い、「情報通信工学実験Ⅱ」の担当者を専任教授3名及び専任准教授1名から、専任教授4名に変更。
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「工業技術概論」を追加。(配当年次「4前」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「工科系の職業指導」を追加。(配当年次「4前」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「情報基盤系の職業指導」を追加。(配当年次「4後」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「現代教職論」を追加。(配当年次「1前」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育原理」を追加。(配当年次「1通」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育心理学」を追加。(配当年次「2後」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育課程論」を追加。(配当年次「2前」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教科教育法Ⅰ(工業)」を追加。(配当年次「3前」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教科教育法Ⅲ(工業)」を追加。(配当年次「3後」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「特別活動の理論と方法」を追加。(配当年次「3前」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育方法」を追加。(配当年次「2後」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育の相談と指導Ⅰ」を追加。(配当年次「2前」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育の相談と指導Ⅱ」を追加。(配当年次「2後」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育実習Ⅰ」を追加。(配当年次「4通」)
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教職実践演習(中・高)」を追加。(配当年次「4後」)

【平成30年度】

- ・教育課程編成上の都合により、「聖書を学ぶ」の担当者を兼任講師1名及び兼任教員1名から兼任教員1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「キリスト教の歴史と思想」の担当者を兼任教授1名及び兼任講師1名に変更。
- ・専任教員の病気休職に伴い、「研究・発表の技法」の担当者を専任教授1名から専任准教授1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「心理学」の担当者を兼任教授1名から兼任教員1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「日本国憲法」の担当者を変更。(兼任教員1名)
- ・教育課程編成上の都合により、「生命の科学」の担当者を兼任教授1名から兼任教員1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「基礎化学演習」の担当者を変更。(兼任教員1名)
- ・教育課程編成上の都合により、「地域の課題Ⅰ」を共同科目とし、兼任准教授2名及び兼任助教3名を追加し、計6名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「英語ⅠA」の担当者であった兼任准教授1名が定年により兼任教員に変更。併せて、兼任教員2名を変更。(科目担当者総数に変更無し)
- ・教育課程編成上の都合により、「英語ⅠB」の担当者を兼任教授1名及び兼任教員2名から兼任准教授2名及び兼任教員5名に変更。(平成29年度後期開講分)
- ・教育課程編成上の都合により、「英語ⅡA」の担当者に兼任教員3名を追加、2名を入れ替えし、兼任教員計6名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「フランス語」の担当者を変更。(兼任教員1名)
- ・教育課程編成上の都合により、「韓国・朝鮮語」の担当者を兼任准教授1名から兼任教員1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「スポーツ実技」の担当者を兼任准教授1名及び兼任教員2名から、兼任教員3名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「微積分学Ⅱ」の担当者に専任講師1名を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「自然科学実験ファンダメンタルズ」の担当者を専任教授1名、専任准教授1名及び兼任教員3名から専任教授1名、専任准教授1名、兼任教授1名及び兼任教員3名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「プログラミング基礎」の担当者を専任教授2名から専任講師1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「海外研究Ⅰ」の担当者を変更。(兼任教授1名)
- ・教育課程編成上の都合により、「情報数理演習Ⅲ(微積分学Ⅱ)」の担当者に専任講師1名を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「応用線形代数学」の担当者を専任教授1名から専任准教授1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「応用線形代数学演習」の担当者を専任教授1名から専任准教授1名及び専任講師1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報理論演習」の担当者を専任准教授2名から専任准教授1名及び専任講師1名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「通信工学基礎Ⅱ」の担当者を変更。(専任教授1名)
- ・教育課程編成上の都合により、「教育方法」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
41 科目	77 科目	0 科目	118 科目	41 科目 [0]	96 科目 [19]	0 科目 [0]	137 科目 [19]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{118} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	①校舎敷地の新規取得による増加 ②重複してカウントしていた校舎面積の減少に伴う変更(29) 校地面積不算入用地にあった学生会倉庫について、同算入用地に移設したことに伴う変更(30) 運動場の売却に伴う減少(29) 土地の売却に伴う減少(29)		
	校 舎 敷 地	368,617.28㎡ <del>368,579.16㎡</del> 358,972.01㎡	0㎡	0㎡	368,617.28㎡ <del>368,579.16㎡</del> 358,972.01㎡			
	運 動 場 用 地	117,383.26㎡ <del>118,225.65㎡</del>	0㎡	0㎡	117,383.26㎡ <del>118,225.65㎡</del>			
	小 計	486,000.54㎡ <del>485,962.42㎡</del> 477,197.66㎡	0㎡	0㎡	486,000.54㎡ <del>485,962.42㎡</del> 477,197.66㎡			
	そ の 他	16,390.69㎡ <del>16,428.81㎡</del> 16,953.09㎡	0㎡	0㎡	16,390.69㎡ <del>16,428.81㎡</del> 16,953.09㎡			
合 計	502,391.23㎡ <del>494,150.75㎡</del>	0㎡	0㎡	502,391.23㎡ <del>494,150.75㎡</del>				
(2) 校 舎	専 用	149,552.23㎡ <del>149,359.18㎡</del> 150,134.90㎡	0㎡	0㎡	149,552.23㎡ <del>149,359.18㎡</del> 150,134.90㎡	平成28年3月に竣工した校舎(ホーイ記念館)について、設置届出時には校舎面積を建築基準法で算出していたが、その後登記に伴い不動産登記法に算定基準を変更したことによる減少(29) 旧学生会倉庫の解体、教育学多目的実習室の新築、学生会倉庫の新築に伴う変更(30)		
	( 149,552.23㎡) <del>(149,359.18㎡)</del> <del>(150,134.90㎡)</del>	( 0㎡)	( 0㎡)	( 149,552.23㎡) <del>(149,359.18㎡)</del> <del>(150,134.90㎡)</del>				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	AC対象学部等の数値に修正(29)		
	27室 154室	7室 41室	166室 187室	3室 16室 (補助職員2人) (補助職員13人)	0室 10室 (補助職員0人) (補助職員4人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			H29.4.1付で専任教員4名を新規採用したため(29) (注)設置届出書においてH29.4.1付で就任予定であった林 優一准教授の後任補充も含む。		
	工学部 情報基盤工学科		16 13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分(図書) 1,280,517冊 +1,07,342冊
	工学部 情報基盤工学科	12,600 [1,000] 423,400 [33,000] (12,005 [943]) <del>(116,631 [32,260])</del>	630 [270] 3,300 [1,400] (605 [253]) <del>(3,201 [1,397])</del>	3,010 [3,000] 28,000 [27,800] (2,939 [2,935]) <del>(27,077 [29,964])</del>	40 4200 (34) <del>(3,884)</del>	0 0 (0)	0 0 (0)	大学全体での共用分(雑誌) 19,847種 +6,898種
	計	12,600 [1,000] 423,400 [33,000] (12,005 [943]) <del>(116,631 [32,260])</del>	630 [270] 3,300 [1,400] (605 [253]) <del>(3,201 [1,397])</del>	3,010 [3,000] 28,000 [27,800] (2,939 [2,935]) <del>(27,077 [29,964])</del>	40 4200 (34) <del>(3,884)</del>	0 0 (0)	0 0 (0)	学部全体の金額が掲載されていたため、学科単体の冊数に修正(30)

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	15,676.43㎡		1,584		1,602,000				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	12,246.02㎡		野球場3面、サッカー場2面、テニスコート10面、ラグビー場、トラック1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体
		教員1人当り研究費等	617千円 <del>995千円</del>	617千円 <del>995千円</del>	図書購入費	12,718千円 <del>23,507千円</del>	13,312千円 <del>23,507千円</del>	12,632千円 <del>23,507千円</del>	
		共同研究費等	1,981千円 <del>70,921千円</del>	1,981千円 <del>70,921千円</del>	設備購入費	1,996千円 <del>22,700千円</del>	11,436千円 <del>24,600千円</del>	0千円 <del>1,300千円</del>	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	・教員1人当り研究費等、図書購入費、共同研究費等、設備購入費 学部全体の金額が掲載されていたため、学科単体の金額に修正(30) ・学生1人当り納付金 学納金改定に伴う修正(30)	
1,578千円	1,338千円 <del>1,328千円</del>	1,358千円 <del>1,328千円</del>	1,388千円 <del>1,348千円</del>	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料、補助金、資産運用収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大 学 の 名 称		東北学院大学							備 考
既 設 学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
<<AC対象学部等>> 工学部 情報基盤工学科	4	110	3年次 5	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	【工学部】 宮城県多賀城市中央一丁目13番1号	
文学部 英文学科	4	180	2年次 6 3年次 12	762	学士(文学)	1.10 1.07	昭和39年度		
総合人文学科	4	50	3年次 2	204	学士(文学)	1.14	平成23年度		
歴史学科	4	170	2年次 2 3年次 3	692	学士(文学)	1.13	平成17年度		
教育学科	4	50	-	200	学士(教育学)	1.04	平成30年度	【文・経済・経営・法学部】 (1・2年次)	
経済学部 経済学科	4	440	2年次 6 3年次 9	1,796	学士(経済学)	1.11 1.11	昭和39年度	宮城県仙台市泉区天神沢二丁目1番1号	
共生社会経済学科	4	187	2年次 4 3年次 3	766	学士(経済学)	1.11	平成21年度	(3・4年次) 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	
経営学部 経営学科	4	341	2年次 6 3年次 8	1,398	学士(経営学)	1.09 1.09	平成21年度		
法学部 法律学科	4	358	2年次 4 3年次 6	1,456	学士(法学)	1.12 1.12	昭和40年度		
工学部 機械知能工学科	4	110	3年次 6	452	学士(工学)	1.09 1.08	平成18年度		
電気電子工学科	4	110	3年次 6	452	学士(工学)	1.07	平成29年度	【工学部】 宮城県多賀城市中央一丁目13番1号	平成29年度 名称変更
電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成18年度		平成29年度より学生 募集停止
環境建設工学科	4	110	3年次 5	450	学士(工学)	1.16	平成18年度		



既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
教養学部 人間科学科	4	110	2年次 2 3年次 2	450	学士(教養学)	1.11 1.11	平成17年度	【教養学部】 宮城県仙台市泉区 天神沢二丁目1番1号	
言語文化学科	4	110	2年次 2 3年次 2	450	学士(教養学)	1.10	平成17年度		
情報科学科	4	110	2年次 2 3年次 2	450	学士(教養学)	1.11	平成17年度		
地域構想学科	4	110	2年次 2 3年次 2	450	学士(教養学)	1.11	平成17年度		
大学の名称	東北学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学研究科 英語英文学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士(文学)	0.05	昭和39年度	【文・経済・経営・法学研究科】 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	
英語英文学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士(文学)	0.00	昭和41年度		
ヨーロッパ文化史専攻(博士前期課程)	2	5	-	10	修士(文学)	0.20	平成9年度		
ヨーロッパ文化史専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(文学)	0.00	平成11年度		
アジア文化史専攻(博士前期課程)	2	5	-	10	修士(文学)	0.70	平成9年度		
アジア文化史専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(文学)	0.16	平成11年度		
経済学研究科 経済学専攻(博士前期課程)	2	8	-	16	修士(経済学)	0.06	昭和42年度		
経済学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(経済学)	0.00	昭和43年度		
経営学研究科 経営学専攻(修士課程)	2	8	-	16	修士(経営学)	1.31	平成21年度		
法学研究科 法律学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士(法学)	0.15	昭和50年度		
法律学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(法学)	0.00	昭和54年度		
工学研究科 機械工学専攻(博士前期課程)	2	8	-	16	修士(工学)	1.62	昭和46年度		【工学研究科】 宮城県多賀城市中 央一丁目13番1号
機械工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(工学)	0.00	昭和49年度		
電気工学専攻(博士前期課程)	2	8	-	16	修士(工学)	0.62	昭和46年度		
電気工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(工学)	0.16	昭和49年度		
電子工学専攻(博士前期課程)	2	8	-	16	修士(工学)	1.12	平成22年度		
電子工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(工学)	0.00	平成24年度		
環境建設工学専攻(博士前期課程)	2	8	-	16	修士(工学)	0.31	平成22年度		
環境建設工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(工学)	0.00	平成22年度		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地
人間情報学研究科 人間情報学専攻（博士前期課程）	2	8	-	16	修士（学術）	0.12	平成6年度	【人間情報学研究科】 宮城県仙台市泉区 天神沢二丁目1番1号
人間情報学専攻（博士後期課程）	3	3	-	9	博士（学術）	0.22	平成8年度	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部情報基盤工学科>

(1) ①担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
専	教授 (学科 長)	志子田有光 (52) <平成29年4月>	専	教授 (学科 長)	志子田有光 (53) <平成29年4月>	専	教授 (学科 長)	志子田有光 (54) <平成29年4月>
		プログラミング基礎			プログラミング基礎			プログラミング基礎
		プログラミング応用			プログラミング応用			プログラミング応用
		応用線形代数			応用線形代数			応用線形代数
		最適化法			最適化法			最適化法
		ソフトウェア開発演習 I			ソフトウェア開発演習 I			ソフトウェア開発演習 I
		ソフトウェア開発演習 II			ソフトウェア開発演習 II			ソフトウェア開発演習 II
		デジタル回路設計			デジタル回路設計			デジタル回路設計
		工学総合演習 II			工学総合演習 II			工学総合演習 II
		ジュニアセミナー			ジュニアセミナー			ジュニアセミナー
卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I						
卒業研究 II	卒業研究 II	卒業研究 II						
インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ						
専	教授	淡野 照義 (56) <平成29年4月>	専	教授	淡野 照義 (57) <平成29年4月>	専	教授	淡野 照義 (58) <平成29年4月>
		基礎数学演習			自然科学実験ファンダメン タルズ			自然科学実験ファンダメン タルズ
		基礎物理演習			物理学 I			物理学 I
		自然科学実験ファンダメン タルズ			物理学 II			物理学 II
		物理学 I			キャリア・デザイン			キャリア・デザイン
		物理学 II			データサイエンス演習			データサイエンス演習
		キャリア・デザイン			ジュニアセミナー			ジュニアセミナー
		データサイエンス演習			卒業研究 I			卒業研究 I
		ジュニアセミナー			卒業研究 II			卒業研究 II
		卒業研究 I						
卒業研究 II								
専	教授	石上 忍 (48) <平成29年4月>	専	教授	石上 忍 (49) <平成29年4月>	専	教授	石上 忍 (50) <平成29年4月>
		情報リテラシー			情報リテラシー			情報リテラシー
		基礎数学演習			基礎数学演習			基礎数学演習
		通信工学基礎演習			通信工学基礎演習			通信工学基礎演習
		情報通信法規			情報通信法規			情報通信法規
		情報通信工学実験 I			情報通信工学実験 I			情報通信工学実験 I
					<b>情報通信工学実験 II</b>			<b>情報通信工学実験 II</b>
		ジュニアセミナー			ジュニアセミナー			ジュニアセミナー
		卒業研究 I			卒業研究 I			卒業研究 I
		卒業研究 II			卒業研究 II			卒業研究 II

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)		
		<就任(予定)年月>		
		担当授業科目名		
専	教授	加藤 和夫 (45) <平成29年4月>		
		工学総合演習 I		
		信号処理工学		
		電気電子計測		
		情報工学基礎		
		応用線形代数学演習		
		情報通信工学実験 I		
		情報通信工学実験 II		
		センサネットワーク工学		
		通信工学基礎 II		
		ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II		
専	教授	神永 正博 (48) <平成29年4月>		
		微分積分学 I		
		微分積分学 II		
		線形代数学		
		数理的思考の基礎		
		統計的思考の基礎		
		フーリエ解析		
		微分方程式		
		確率統計学		
		データサイエンス		
		情報セキュリティ工学 ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II		
専	教授	川又 憲 (51) <平成29年4月>		
		通信工学基礎 I		
		通信工学基礎 III		
		通信工学基礎演習		
		情報数理解習 II (微分積分学 I)		
		工業英語		
		情報通信工学実験 I		
		情報通信工学実験 II		
		ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II		
		専	教授	鈴木 利則 (51) <平成29年4月>
				シミュレーション工学
情報通信工学				
情報通信工学実験 I				
通信システム工学				
情報通信工学実験 II				
電磁波工学				
ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)		
		<就任(予定)年月>		
		担当授業科目名		
専	教授	加藤 和夫 (46) <平成29年4月>		
		工学総合演習 I		
		信号処理工学		
		電気電子計測		
		応用線形代数学演習		
		情報通信工学実験 I		
		情報通信工学実験 II		
		センサネットワーク工学		
		通信工学基礎 II		
		ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II		
		専	教授	神永 正博 (49) <平成29年4月>
微分積分学 I				
微分積分学 II				
線形代数学				
フーリエ解析				
微分方程式				
確率統計学				
データサイエンス				
情報セキュリティ工学 ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II				
専	教授			川又 憲 (52) <平成29年4月>
				通信工学基礎 I
		通信工学基礎 III		
		通信工学基礎演習		
		工業英語		
		情報通信工学実験 I		
		情報通信工学実験 II		
		ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II		
		専	教授	鈴木 利則 (52) <平成29年4月>
				シミュレーション工学
				情報通信工学
情報通信工学実験 I				
通信システム工学				
情報通信工学実験 II				
電磁波工学				
ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)		
		<就任(予定)年月>		
		担当授業科目名		
専	教授	加藤 和夫 (47) <平成29年4月>		
		工学総合演習 I		
		信号処理工学		
		電気電子計測		
		情報通信工学実験 I		
		情報通信工学実験 II		
		センサネットワーク工学		
		ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II		
		専	教授	神永 正博 (50) <平成29年4月>
				微分積分学 I
				微分積分学 II
線形代数学				
フーリエ解析				
微分方程式				
確率統計学				
データサイエンス				
情報セキュリティ工学 ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II				
専	教授			川又 憲 (53) <平成29年4月>
				通信工学基礎 I
		<b>通信工学基礎 II</b>		
		通信工学基礎 III		
		通信工学基礎演習		
		工業英語		
		情報通信工学実験 I		
		情報通信工学実験 II		
		ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II		
		専	教授	鈴木 利則 (53) <平成29年4月>
				シミュレーション工学
情報通信工学				
情報通信工学実験 I				
通信システム工学				
情報通信工学実験 II				
電磁波工学				
ジュニアセミナー 卒業研究 I 卒業研究 II				

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	教授	嶺岸 茂樹 (64)
		<平成29年4月>
		担当授業科目名
		嶺岸 茂樹 (64)
		<平成29年4月>
		フレッシュパーソンセミナー
専	教授	山田 颯 (64)
		<平成29年4月>
		フレッシュパーソンセミナー
専	教授	郷古 学 (40)
		<平成29年4月>
		クリティカル・シンキング 読解・作文の技法 プログラミング基礎 ソフトウェア開発演習Ⅰ 人工知能 ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	木村 敏幸 (40)
		<平成29年4月>
		情報リテラシー 基礎物理演習 自然科学実験ファンダメンタルズ 情報数理演習Ⅰ(線形代数学) 情報理論演習 確率統計学演習 ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	林 優一 (38)
		<平成29年4月>
		工学総合演習Ⅰ プログラミング応用 ソフトウェア開発演習Ⅱ インターネット工学 インターネット工学演習 情報通信工学実験Ⅱ ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ オペレーティングシステム論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	教授	嶺岸 茂樹 (65)
		<平成29年4月>
		担当授業科目名
		嶺岸 茂樹 (65)
		<平成29年4月>
		フレッシュパーソンセミナー
専	教授	郷古 学 (41)
		<平成29年4月>
		クリティカル・シンキング 読解・作文の技法 プログラミング基礎 ソフトウェア開発演習Ⅰ 人工知能 ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ <b>情報工学基礎</b>
専	准教授	木村 敏幸 (41)
		<平成29年4月>
		情報リテラシー 基礎物理演習 自然科学実験ファンダメンタルズ 情報数理演習Ⅰ(線形代数学) 情報理論演習 確率統計学演習 ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	林 優一 (38)
		<平成29年4月>
		工学総合演習Ⅰ プログラミング応用 ソフトウェア開発演習Ⅱ インターネット工学 インターネット工学演習 情報通信工学実験Ⅱ ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ オペレーティングシステム論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	教授	嶺岸 茂樹 (66)
		<平成29年4月>
		担当授業科目名
		嶺岸 茂樹 (66)
		<平成29年4月>
		フレッシュパーソンセミナー
専	教授	山田 颯 (66)
		<平成29年4月>
		フレッシュパーソンセミナー
専	教授	郷古 学 (42)
		<平成29年4月>
		クリティカル・シンキング 読解・作文の技法 ソフトウェア開発演習Ⅰ 人工知能 ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ <b>情報工学基礎</b>
専	准教授	木村 敏幸 (42)
		<平成29年4月>
		<b>研究・発表の技法</b> 情報リテラシー 基礎物理演習 自然科学実験ファンダメンタルズ 情報数理演習Ⅰ(線形代数学) 情報理論演習 確率統計学演習 ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	林 優一 (38)
		<平成29年4月>
		工学総合演習Ⅰ プログラミング応用 ソフトウェア開発演習Ⅱ インターネット工学 インターネット工学演習 情報通信工学実験Ⅱ ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ オペレーティングシステム論

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	准教授	吉川 英機 (47) <平成29年4月>
		情報数学
		情報数学演習
		情報数理解習Ⅲ(微分積分学Ⅱ)
		情報理論
		情報理論演習
		ソフトウェア開発演習Ⅰ
		アルゴリズム論
		アルゴリズム論演習
		符号理論
		ジュニアセミナー
		卒業研究Ⅰ
		卒業研究Ⅱ
学外見学		
工学総合演習Ⅱ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	准教授	吉川 英機 (48) <平成29年4月>
		情報数学
		情報数学演習
		情報数理解習Ⅲ(微分積分学Ⅱ)
		情報理論
		情報理論演習
		ソフトウェア開発演習Ⅰ
		アルゴリズム論
		アルゴリズム論演習
		符号理論
		ジュニアセミナー
		卒業研究Ⅰ
		卒業研究Ⅱ
学外見学		
工学総合演習Ⅱ		

  

専	准教授	物部 寛太郎 (38) <平成29年4月>
		情報化社会の基礎 フレッシュパーソンセミナー ソフトウェア開発演習Ⅱ インターネット工学

  

専	准教授	木下 勉 (48) <平成29年4月>
		数理的思考の基礎 統計的思考の基礎 工学総合演習Ⅰ 情報数理解習Ⅰ(線形代数学) 情報数理解習Ⅱ(微分積分学Ⅰ)

  

専	講師	門倉 博之 (50) <平成29年4月>
		微分積分学Ⅰ 情報数理解習Ⅱ(微分積分学Ⅰ)

  

専	講師	深瀬 道晴 (34) <平成29年4月>
		フレッシュパーソンセミナー 基礎数学演習 基礎物理演習 プログラミング応用 ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ オペレーティングシステム論 インターネット工学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	准教授	吉川 英機 (49) <平成29年4月>
		情報数学
		情報数学演習
		情報数理解習Ⅲ(微分積分学Ⅱ)
		情報理論
		ソフトウェア開発演習Ⅰ
		アルゴリズム論
		アルゴリズム論演習
		符号理論
		ジュニアセミナー
		卒業研究Ⅰ
		卒業研究Ⅱ
		学外見学
工学総合演習Ⅱ		

  

専	准教授	物部 寛太郎 (39) <平成29年4月>
		情報化社会の基礎 フレッシュパーソンセミナー ソフトウェア開発演習Ⅱ インターネット工学

  

専	准教授	木下 勉 (47) <平成29年4月>
		数理的思考の基礎 統計的思考の基礎 工学総合演習Ⅰ 情報数理解習Ⅰ(線形代数学) 情報数理解習Ⅱ(微分積分学Ⅰ) 応用線形代数学 応用線形代数学演習

  

専	講師	門倉 博之 (51) <平成29年4月>
		微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 情報数理解習Ⅱ(微分積分学Ⅰ) 情報数理解習Ⅲ(微分積分学Ⅱ) 応用線形代数学演習

  

専	講師	深瀬 道晴 (35) <平成29年4月>
		フレッシュパーソンセミナー 基礎数学演習 基礎物理演習 プログラミング基礎 プログラミング応用 ジュニアセミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 情報理論演習 オペレーティングシステム論 インターネット工学演習

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	北博 (61) <平成29年4月>
		聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想
兼任	教授	石田 啓 (66) <平成29年4月>
		英語 I A 英語 I B
兼任	教授	和田 正春 (50) <平成29年4月>
		東北地域論
兼任	教授	松崎 光弘 (51) <平成29年4月>
		震災と復興 ※
		地域の課題 I 地域の課題 II
		地域課題演習
兼任	教授	津上 誠 (60) <平成29年4月>
		日本事情B
兼任	教授	前田 明伸 (64) <平成29年4月>
		日本事情C
兼任	教授	楊 世英 (55) <平成29年4月>
		海外研究 I 海外研究 II
兼任	教授	佐久間 政広 (59) <平成29年4月>
		社会学
兼任	教授	堀毛 裕子 (62) <平成29年4月>
		心理学
兼任	教授	菅原 研 (47) <平成29年4月>
		科学的思考の基礎
兼任	教授	宮内 啓介 (45) <平成29年4月>
		生命の科学
兼任	教授	齋藤 誠 (62) <平成29年4月>
		市民社会を生きる
兼任	教授	千葉 昭彦 (56) <平成29年4月>
		震災と復興 ※
兼任	教授	飛田 善雄 (62) <平成29年4月>
		震災と復興 ※
兼任	教授	鈴木 好和 (61) <平成29年4月>
		経営学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	北博 (62) <平成29年4月>
		キリスト教の歴史と思想
兼任	教授	石田 啓 (67) <平成29年4月>
		英語 I B
兼任	教授	和田 正春 (51) <平成29年4月>
		東北地域論
兼任	教授	松崎 光弘 (52) <平成29年4月>
		地域の課題 I 地域の課題 II
		地域課題演習
兼任	教授	津上 誠 (61) <平成29年4月>
		日本事情B
兼任	教授	前田 明伸 (65) <平成29年4月>
		日本事情C
兼任	教授	楊 世英 (56) <平成29年4月>
		海外研究 I 海外研究 II
兼任	教授	佐久間 政広 (60) <平成29年4月>
		社会学
兼任	教授	堀毛 裕子 (63) <平成29年4月>
		心理学
兼任	教授	
兼任	教授	宮内 啓介 (46) <平成29年4月>
		生命の科学
兼任	教授	齋藤 誠 (63) <平成29年4月>
		市民社会を生きる
兼任	教授	千葉 昭彦 (57) <平成29年4月>
		震災と復興 ※
兼任	教授	飛田 善雄 (63) <平成29年4月>
		震災と復興 ※
兼任	教授	鈴木 好和 (62) <平成29年4月>
		経営学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	和田 正春 (52) <平成30年4月>
		東北地域論
兼任	教授	松崎 光弘 (53) <平成29年4月>
		地域の課題 I 地域の課題 II
		地域課題演習
兼任	教授	津上 誠 (62) <平成29年4月>
		日本事情B
兼任	教授	前田 明伸 (66) <平成29年4月>
		日本事情C
兼任	教授	楊 世英 (57) <平成29年4月>
		海外研究 II
兼任	教授	佐久間 政広 (61) <平成29年4月>
		社会学
兼任	教授	
兼任	教授	宮内 啓介 (47) <平成29年4月>
		自然科学実践ファンダメンタルズ
兼任	教授	齋藤 誠 (64) <平成29年4月>
		市民社会を生きる
兼任	教授	千葉 昭彦 (58) <平成29年4月>
		震災と復興 ※
兼任	教授	飛田 善雄 (64) <平成29年4月>
		震災と復興 ※
兼任	教授	鈴木 好和 (63) <平成29年4月>
		経営学







【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	青山 景子 (34) <平成29年4月>
		スポーツ実技
兼任	講師	鈴木 武一 (60) <平成29年4月>
		スポーツ実技
兼任	講師	島津 諭志 (39) <平成29年4月>
		歴史学
兼任	講師	石澤 淳好 (68) <平成29年4月>
		日本国憲法
兼任	講師	小島 竜哉 (40) <平成29年4月>
		フランス語
兼任	講師	菊池 克己 (52) <平成29年4月>
		ドイツ語
兼任	講師	千葉 一 (55)
		地球社会を生きる 震災と復興 ※
兼任	講師	范 軍 (52) <平成29年4月>
		中国語
兼任	講師	福森 久夫 (67) <平成29年4月>
		知的所有権
兼任	講師	ブシェー ポール (44) <平成29年4月>
		英語コミュニケーションズ
兼任	講師	宗形 太 (46) <平成29年4月>
		情報化社会の基礎
兼任	講師	室井 真人 (47) <平成29年4月>
		法学
兼任	講師	森田 優子 (39) <平成29年4月>
		芸術論
兼任	講師	吉本 裕一 (68) <平成29年4月>
		自然科学実験ファンダメンタルズ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	小泉 美彩紀 (30) <平成29年4月>
		震災と復興
兼任	講師	鈴木 武一 (61) <平成29年4月>
		スポーツ実技
兼任	講師	島津 諭志 (40) <平成29年4月>
		歴史学
兼任	講師	石澤 淳好 (69) <平成29年4月>
		日本国憲法
兼任	講師	小島 竜哉 (41) <平成29年4月>
		フランス語
兼任	講師	菊池 克己 (53) <平成29年4月>
		ドイツ語
兼任	講師	千葉 一 (56)
		地球社会を生きる 震災と復興 ※
兼任	講師	范 軍 (53) <平成29年4月>
		中国語
兼任	講師	福森 久夫 (68) <平成29年4月>
		知的所有権
兼任	講師	ブシェー ポール (45) <平成29年4月>
		英語コミュニケーションズ
兼任	講師	室井 真人 (48) <平成29年4月>
		法学
兼任	講師	吉本 裕一 (69) <平成29年4月>
		自然科学実験ファンダメンタルズ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	小泉 美彩紀 (31) <平成29年4月>
		震災と復興 地域の課題Ⅰ
兼任	助教	四宮 千佳子 (37) <平成30年4月>
		地域の課題Ⅰ
兼任	助教	高橋 美和 (34) <平成30年4月>
		地域の課題Ⅰ
兼任	講師	鈴木 武一 (62) <平成29年4月>
		スポーツ実技
兼任	講師	島津 諭志 (41) <平成29年4月>
		歴史学
兼任	講師	菊池 克己 (54) <平成29年4月>
		ドイツ語
兼任	講師	千葉 一 (57)
		地球社会を生きる 震災と復興 ※
兼任	講師	范 軍 (54) <平成29年4月>
		中国語
兼任	講師	福森 久夫 (69) <平成29年4月>
		知的所有権
兼任	講師	ブシェー ポール (46) <平成29年4月>
		英語コミュニケーションズ
兼任	講師	室井 真人 (49) <平成29年4月>
		法学

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	伊東 利光 (52) <平成29年4月> 自然科学実験ファンダメンタルズ
兼任	講師	小黒 秀紀 (65) <平成29年4月> 自然科学実験ファンダメンタルズ
兼任	講師	佐藤 敬広 (40) <平成29年4月> スポーツ実技
兼任	講師	川嶋 周英 (53) <平成29年4月> 日本語Ⅱ
兼任	講師	山田 春樹 (68) <平成29年4月> 数理的思考の基礎
兼任	講師	大井 くみ子 (54) <平成29年4月> 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	月輪 まり子 (41) <平成29年4月> 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	山口 常夫 (66) <平成29年4月> 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	星 かおり (40) <平成29年4月> 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	今立 洋子 (53) <平成29年4月> 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	林 修三 (40) <平成29年4月> キャリア形成と大学生活

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	伊東 利光 (53) <平成29年4月> 自然科学実験ファンダメンタルズ
兼任	講師	小黒 秀紀 (66) <平成29年4月> 自然科学実験ファンダメンタルズ
兼任	講師	川嶋 周英 (54) <平成29年4月> 日本語ⅡA 日本語ⅡB
兼任	講師	大井 くみ子 (55) <平成29年4月> 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	月輪 まり子 (42) <平成29年4月> 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	山口 常夫 (67) <平成29年4月> 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	星 かおり (41) <平成29年4月> 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	今立 洋子 (54) <平成29年4月> 英語ⅠA 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	林 修三 (41) <平成29年4月> キャリア形成と大学生活
兼任	講師	梅津 実 (81) <平成29年4月> 科学的思考の基礎
兼任	講師	佐藤 篤 (89) <平成29年4月> 基礎化学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	川嶋 周英 (55) <平成29年4月> 日本語ⅡA 日本語ⅡB
兼任	講師	大井 くみ子 (56) <平成29年4月> 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	月輪 まり子 (43) <平成29年4月> 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	山口 常夫 (68) <平成29年4月> 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	星 かおり (42) <平成29年4月> 英語ⅡB
兼任	講師	今立 洋子 (55) <平成29年4月> 英語ⅠB 英語ⅡB
兼任	講師	林 修三 (42) <平成29年4月> キャリア形成と大学生活
兼任	講師	梅津 実 (82) <平成29年4月> 科学的思考の基礎
兼任	講師	淡路 智典 (37) <平成30年4月> 日本国憲法
兼任	講師	遠藤 健朗 (89) <平成29年4月> 生命の科学 自然科学実験ファンダメンタルズ



【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								藤本 敏彦 (52) <平成30年4月> スポーツ実技
			兼任	講師	瀬口 和也 (63) <平成29年4月> 微分積分学 I			瀬口 和也 (64) <平成29年4月> 微分積分学 I
								星宮 務 (68) <平成29年4月> 自然科学実験ファンダメンタルズ
								中村 圭祐 (39) <平成29年4月> 自然科学実験ファンダメンタルズ
			兼任	講師	富士原 紀絵 (47) <平成29年4月> 教育課程論			富士原 紀絵 (48) <平成29年4月> 教育課程論
			兼任	講師	清水 貴裕 (42) <平成29年4月> 教育の相談と指導 I 教育の相談と指導 II			
			兼任	講師	森 武彦 (63) <平成29年4月> 教科教育法 I (工業) 教科教育法 III (工業) 教育実習 I 工業技術概論			森 武彦 (64) <平成29年4月> 教科教育法 I (工業) 教科教育法 III (工業) 教育実習 I 工業技術概論
			兼任	講師	安倍 啓司 (59) <平成29年4月> 特別活動の理論と方法			安倍 啓司 (60) <平成29年4月> 特別活動の理論と方法
			兼任	講師	池田 東照 (62) <平成29年4月> 工科系の職業指導 情報基盤系の職業指導			池田 東照 (63) <平成29年4月> 工科系の職業指導 情報基盤系の職業指導

(注)・申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育課程編成上の都合により、「基礎数学演習」の担当者を石上忍専任教授及び淡野照義専任教授から石上忍専任教授及び深瀬道晴専任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「基礎物理演習」の担当者を淡野照義専任教授及び木村敏幸専任准教授から木村敏幸専任准教授及び深瀬道晴専任講師に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「情報通信工学実験Ⅱ」の担当者を石上忍専任教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報工学基礎」の担当者を加藤和夫専任教授から郷古学専任教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「数理的思考の基礎」の担当者を神永正博専任教授及び山田春樹兼任講師から木下勉専任准教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「統計的思考の基礎」の担当者を神永正博専任教授から木下勉専任准教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報数理演習Ⅱ（微分積分学Ⅰ）」の担当者を川又憲専任教授から、木下勉専任准教授及び門倉博の専任講師に変更。
- ・嶺南茂樹専任教授の体調不良による休職に伴い、「キャリア形成と大学生活」を担当科目から削除。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「工学総合演習Ⅰ」の担当者を木下勉専任准教授に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「プログラミング応用」の担当者を深瀬道晴専任講師に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「ソフトウェア開発演習Ⅱ」の担当者を物部寛太郎専任准教授に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「インターネット工学」の担当者を物部寛太郎専任准教授に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「インターネット工学演習」の担当者を深瀬道晴専任講師に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「ジュニアセミナー」の担当者を深瀬道晴専任講師に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「卒業研究Ⅰ」の担当者を深瀬道晴専任講師に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「卒業研究Ⅱ」の担当者を深瀬道晴専任講師に変更。
- ・林優一専任准教授の就任辞退に伴い、「オペレーティングシステム論」の担当者を深瀬道晴専任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報化社会の基礎」の担当者を宗形太兼任講師から物部寛太郎専任准教授、杉浦茂樹兼担教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「フレッシュバーソンセミナー」の担当者に物部寛太郎専任准教授、深瀬道晴専任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報数理演習Ⅰ（線形代数）」の担当者に木下勉専任准教授を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「微分積分学Ⅰ」の担当者に門倉博の専任講師、瀧口和也兼任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「聖書を学ぶ」の担当者を北博兼担教授から阿久戸義愛兼担講師、関川祐一郎兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「英語ⅠA」の担当者を石田啓兼担教授から相田明子兼担教授に変更。あわせて、風斗博之兼担教授、渡邊宗郎兼任講師、佐藤康紀兼任講師、今立洋子兼任講師を追加。月輪まり子兼任講師及び大井くみ子兼任講師は変更無し。
- ・教育課程編成上の都合により、「科学的思考の基礎」の担当者を菅原研兼担教授から梅津実兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「芸術論」の担当者を森田優子兼任講師から森美智子兼担教授に変更。
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「現代教職論」を追加。（渡邊遼子兼担教授）
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育原理」を追加。（八幡恵兼担教授）
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育方法」「教職実践演習（中・高）」を追加。（福垣忠兼担教授）
- ・教育課程編成上の都合により、「震災と復興」の科目担当として本間照雄兼担教授を追加。
- ・全学的な教育課程編成の変更により、「英語Ⅲ」を新規科目として追加。（渡部友子兼担教授）
- ・教育課程編成上の都合により、「震災と復興」の科目担当から渡邊一馬兼担教授を削除。
- ・教育課程編成上の都合により、「基礎化学演習」の担当者を桑野（中谷）聡子兼担教授から佐藤篤兼任講師に変更。
- ・専任教員の昇任に伴い、吉田新兼担講師の職位を兼担教授に変更。
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育心理学」を追加。（萩原俊彦兼担教授）
- ・全学的な教育課程編成の変更により、「ベーシック英語」を新規科目として追加。（相田明子兼担教授）
- ・教育課程編成上の都合により、「震災と復興」の科目担当として菊池広人兼担教授を追加。
- ・全学的な教育課程編成により、佐藤真紀兼担講師担当の「日本語Ⅰ」を「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」にそれぞれ科目分割。
- ・教育課程編成上の都合により、「震災と復興」の科目担当として小泉美彩紀兼担助教を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「スポーツ実技」の担当者を青山景子兼任講師から吉田裕充兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「スポーツ実技」の担当者を佐藤敏和兼担講師を削除。
- ・全学的な教育課程編成により、川嶋周英兼任講師担当の「日本語Ⅱ」を「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」にそれぞれ科目分割。
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育課程論」を追加。（富士原紀兼担講師）
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教育の相談と指導Ⅰ」「教育の相談と指導Ⅱ」を追加。（清水貴裕兼任講師）
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「教科教育法Ⅰ（工業）」「教科教育法Ⅲ（工業）」「工業技術概論」「教育実習Ⅰ」を追加。（森武彦兼任講師）
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「特別活動の理論と方法」を追加。（安倍啓司兼任講師）
- ・教育課程上に記載すべき科目の記載漏れにより、「工科系の職業指導」「情報基盤系の職業指導」を追加。（池田東照兼任講師）

【平成30年度】

- ・教育課程編成上の都合により、「プログラミング基礎」の担当者を志子田有光専任教授、郷古学専任教授から深瀬道晴専任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「応用線形代数」の担当者を志子田有光専任教授から木下勉専任准教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「応用線形代数演習」の担当者を加藤和夫専任教授から、木下勉専任准教授、門倉博の専任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「通信工学基礎Ⅱ」の担当者を加藤和夫専任教授から川又憲専任教授に変更。
- ・嶺南茂樹専任教授の体調不良による休職に伴い、「研究・発表の技法」の担当者を木村敏幸専任准教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報理論演習」の担当者を吉川英機専任准教授から深瀬道晴専任講師に変更。（木村敏幸専任准教授は変更無し）
- ・教育課程編成上の都合により、「微分積分学Ⅱ」の担当者に門倉博の専任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「情報数理演習Ⅲ（微分積分学Ⅱ）」の担当者に門倉博の専任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「キリスト教の歴史と思想」の担当者を北博兼担教授から阿久戸義愛兼担講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「英語ⅠB」の担当者を石田啓兼担教授から相田明子兼担教授に変更。併せて、風斗博之兼担教授、渡邊宗郎兼任講師、佐藤康紀兼任講師、今立洋子兼任講師を追加。月輪まり子兼任講師及び大井くみ子兼任講師は変更無し。（平成29年度後期開講分）
- ・教育課程編成上の都合により、「海外研究Ⅰ」の担当者を楊世英兼担教授から呉国紅兼担教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「心理学」の担当者を堀毛裕子兼担教授から佐々木清美兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「生命の科学」の担当者を宮内啓介兼担教授から遠藤銀朗兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「自然科学実験ファンダメンタルズ」の担当者に宮内啓介兼担教授を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「スポーツ実技」の担当者を佐々木桂二兼担教授から藤本敏彦兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「韓国・朝鮮語」の担当者を松谷基和兼担教授から崔綺純兼任講師に変更。
- ・専任教員の昇任に伴い、渡部友子兼担教授の職位を兼担教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「地域の課題Ⅰ」の担当者に菊池広人兼担教授を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「地域の課題Ⅰ」の担当者に伊藤晋兼担教授を追加。
- ・兼任講師から専任教授に着任したことに伴い、職位を変更。（清水貴裕）
- ・教育課程編成上の都合により、「聖書を学ぶ」の担当者に阿久戸義愛兼担講師を削除。
- ・教育課程編成上の都合により、「地域の課題Ⅰ」の担当者に小泉美彩紀兼担助教を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「地域の課題Ⅰ」の担当者に四宮千佳子兼担助教を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「地域の課題Ⅰ」の担当者に高橋美和兼担助教を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「日本国憲法」の担当者を石澤淳好兼任講師から淡路智典兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「フランス語」の担当者を小島竜哉兼任講師から白石冬人兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「自然科学実験ファンダメンタルズ」の担当者に吉本裕一兼任講師を削除。
- ・教育課程編成上の都合により、「自然科学実験ファンダメンタルズ」の担当者に伊東利光兼任講師を削除。
- ・教育課程編成上の都合により、「自然科学実験ファンダメンタルズ」の担当者に小黒秀紀兼任講師を削除。
- ・教育課程編成上の都合により、「基礎化学演習」の担当者を佐藤篤兼任講師から多田美香兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「英語ⅠA」の担当者を佐藤康紀兼任講師から森茂利兼任講師、今立洋子兼任講師から酒井紀行兼任講師に変更。風斗博之兼任講師は定年に伴う兼担教授からの職位変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「英語ⅡA」の担当者を今立洋子兼任講師から大山廉兼任講師、星かおり兼任講師から柴田尚子兼任講師に変更。併せて、森茂利兼任講師、柴田和枝兼任講師、伊達麻子兼任講師を追加。山口常夫兼任講師は変更無し。
- ・教育課程編成上の都合により、「スポーツ実技」の担当者を吉田裕充兼任講師から本田春彦兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「自然科学実験ファンダメンタルズ」の担当者に遠藤銀朗兼任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「自然科学実験ファンダメンタルズ」の担当者に星宮務兼任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「自然科学実験ファンダメンタルズ」の担当者に中村圭祐兼任講師を追加。

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ **紅で扱われた学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（A0）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
9	4	0	0	13	10	4	2	0	16	10	4	2	0	16
(10)	(4)	(2)	(0)	(16)						[1]	[0]	[2]	[0]	[3]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
教授：67 その他：65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{13} = \boxed{123.07} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	林 優一	選択	プログラミング応用	①	H29. 4. 1付で他大学に就任することに伴う辞退（29）			
			選択	ソフトウェア開発演習Ⅱ	①				
			必修	工学総合演習Ⅰ	①				
			必修	インターネット工学	①				
			必修	インターネット工学演習	①				
			選択	情報通信工学実験Ⅱ	①				
			選択	オペレーティングシステム論	①				
			必修	ジュニアセミナー	①				
			必修	卒業研究Ⅰ	①				
			必修	卒業研究Ⅱ	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし	必修						
			選択						
			必修						
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし	必修							
			選択							
			必修							
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
人			必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
			選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
			自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
			計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

交代する専任教員(林 優一准教授)は、文部科学省の卓越研究員に採用され、国内研究機関とのマッチングを経て、平成28年9月30日付けで奈良先端科学技術大学院大学へ教授としての採用が決定した。よって急きょ交代となる新任教員を募集し、当該授業科目の主要部分を担当可能な若手専任教員(深瀬 道晴講師)が平成29年4月に着任するに至っている。

なお、林 優一准教授の担当予定授業科目については、前記のとおり専任教員を補充し、シラバス及び学生便覧に掲載して周知を図ったため、学生が履修するうえで支障は生じない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<工学部 情報基盤工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①教育課程の科目区分 教養教育科目 第一類 人間的基礎 知的基礎 第二類 人文社会系 自然科学	①教育課程の科目区分 教養教育科目 IGベーシック 人間的基礎 知的基礎 学科教養科目 人文社会系 自然科学  (変更理由) 教養教育科目の科目群の特徴を明確に表現するため、科目群名称を変更した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学のFD活動については、全学的な組織である「東北学院大学FD推進委員会」によって、平成16年より授業内容・方法に関する各学部・学科の現状報告がなされている。それを受けて、全学的にFD講演会の実施、FD研修会を開催し、平成17年からはそれらのFD活動の概要をまとめた『FDニュース』を年2回発行するなどして、全学的にPDCAサイクルを機能させている(資料1「東北学院大学FD推進委員会規程」)。</p> <p>工学部では、「工学部教育の質保証・改善委員会」の下に、FD活動の方針や具体策を検討・作成する「FD小委員会」を設置した。FD小委員会委員の1名は全学のFD推進委員会の委員を兼ねている。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>工学部のFD小委員会は、工学部の各学科から1名ずつ選出された教員(4学科計4名)で構成されており、平成29年度は4回開催された。4回とも教員は全員参加であった。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>&lt;第1回FD小委員会：平成29年5月18日(木)&gt;</p> <p>審議事項：</p> <p>(1)工学部におけるFD研修会の実施と学習ポートフォリオの実例紹介</p> <p>本学に加え、他大学で実施している学習ポートフォリオの事例紹介など、FD研修会における実施内容とスケジュールなどを検討した。環境建設工学科にて、既に実施している学習ポートフォリオを実例として、次回小委員会に向けて審議内容を検討した。</p> <p>(2)工学部におけるアクティブラーニングに関する研修会とアクティブラーニングの実態調査の実施</p> <p>実態調査に基づき、実際にアクティブラーニングを実施している授業の事例紹介など、研修会における実施内容とスケジュールなどを検討した。また、研修会と実態調査の実施にあたり、アクティブラーニングの定義などを確認した。既に実施している「地(知)の拠点整備事業に係る教員向けアンケート」中におけるアクティブラーニングに関する質問について、本実態調査で使用することが可能か打診することにした。</p> <p>&lt;第2回FD小委員会：平成29年6月1日(木)&gt;</p> <p>審議事項：</p> <p>(1)学習ポートフォリオの実例紹介について</p> <p>学外と学内の学習ポートフォリオの事例について、調査結果を報告した。学外事例として、九州工業大学(情報工学部)のポートフォリオシステム「学修自己評価システム」について検証したが、デモシステムを公開しており、事例紹介に活用できそうであるとの結論に至った。なお、本学でも、学習支援システム「manaba」があり、活用も考えられる。</p> <p>学内の事例として、環境建設工学科の学習ポートフォリオが挙げられる(紹介の資料は、2002～2006年のもの)。JABEE認定プログラムとして機能しており、紙シートで管理している。</p> <p>事例紹介の候補については、九州工業大、manaba、環境建設工学科の学習ポートフォリオを引き続き検討する。また、他学科での導入状況も探っていくこととした。</p>
--

(2) アクティブラーニングの実態調査について

アクティブラーニングの定義を説明し、事例について調査結果を報告した。学外における事例として、MITのTEAL、東大の駒場アクティブラーニングスタジオ・アクティブラーニング教育棟や教養学部物理実験プロジェクトなどが挙げられた。TEALでの講義では、20%程度、アクティブラーニングで成績が上がるなど、知識の定着などのメリットがみられた。

学内における事例として、経済学部では、「読解・作文の技法」及び「研究・発表の技法」等の授業をアクティブラーニング科目として位置付けている。

工学部においても、『東北学院大学業務・活動報告書』のキーワード検索によると、「電気電子工学科のアクティブラーニング室」、「電気情報工学科の工学実験」、「電気情報工学科のマインドストームの活用」及び「電子工学科のコンピュータ演習」など、主に演習型の授業が該当していた。

なお、環境建設工学科においても、「ジュニアセミナー」や演習型の授業があるため、実際には該当すると思われる。アクティブラーニング室の活用状況について、工学部で同室を活用している教員へのヒアリングの場を調整することとした。

(3) 「地(知)の拠点整備事業に係る教員向けアンケート」中におけるアクティブラーニングに関する質問について

事務局に打診し、共有可能とのこと(ただしFD小委員会内に限る)。入手次第、小委員会メンバーで共有して活用方を検討することとした。

<第3回FD小委員会：平成29年6月15日(木)>

審議事項：

(1) アクティブラーニング室活用状況のヒアリング結果について

工学部内のアクティブラーニング室(AL室)の活用状況について、ヒアリング結果を報告した。6月7日にALコート(電気電子工学科 金教授)、6月8日にALスタジオ(情報基盤工学科 志子田教授)にヒアリングを実施した。

当該教室は、アクティブラーニングを行うことができるスペースとして用意してある。ALコートは、主に学生実験に利用されている。ALスタジオは、現在のところ、講義形式の授業で用いられているが、ロボットを用いたグループワークなどを行う授業の計画があるアクティブラーニングの実施状況や考え方について、情報基盤工学科の志子田教授に再度ヒアリングを行った。

(2) 「地(知)の拠点整備事業に係る教員向けアンケート」中におけるアクティブラーニングに関する質問結果について

事務局より入手した結果を小委員会に報告した。「アクティブラーニング型の授業を行っているか」という質問では、工学部(n=34)の約半数が実施していると回答しているのに対して、教養学部(n=38)と文学部(n=21)の各約8割が実施と回答しており、他学部比べて、低めの結果となっている。工学部では、講義形式が多いことが理由の一つとして考えられるが、アクティブラーニングに該当すると考えられる実験など演習型の授業も多く、実態と異なると推察される。

今後、工学部内でのアンケートの際には、アクティブラーニングに該当する具体的な授業形態についての質問が必要である。ヒアリングによる実態把握を行い、結果をもとに、アンケートの質問文を考えていく。

(3) 学習ポートフォリオの実例紹介について

前回に引き続き、学外と学内の学習ポートフォリオの事例について、調査結果を報告した。学外の事例の九州工業大学については、色々な大学が2008年から、ヒアリングを行っており、時流になっている。

シラバスを表形式にするなど、今ある枠組みを整理する必要があるが、紙のレベルでも運用可能と考える。

「manaba」については、仕様についても今後調査することとした。

なお、九州工業大学のデモシステムの利用については、学内から制限がかかっているため、利用環境を検討することとした。

<第4回FD小委員会：平成29年6月29日(木)>

審議事項：

(1) アクティブラーニングのヒアリング結果について

アクティブラーニングの実態調査アンケートやFD研修会等について、情報基盤工学科の志子田教授にヒアリングを行った。

アンケートの実施の際には、アクティブラーニングに関する解説が必要である。どの科目や講義形式がアクティブラーニングに該当するというチェックシートを作れば、今後も有効に使える文書となる。また、FD研修会については、アクティブラーニングの導入前提ではなく、まず、工学部の授業の該当状況を認識することが重要であることを確認した。文系で使われているようなアクティブラーニングの技法を知ることは良いとの結論に至った。

(2) 今後の検討事項とスケジュールについて

アクティブラーニングのアンケート実施に向けて、アクティブラーニングの定義、該当する講義かのチェックシートを作成していく。定義については、文部科学省に合わせていくものとする。

スケジュール(案)については、12月頃を念頭に、工学部におけるアクティブラーニングの実態調査アンケートを行い、集計後の1か月以降にFD研修会を実施できるように、時期の調整を行う。なお、FD研修会では、「アクティブラーニングを実施している授業の事例紹介」と「学習ポートフォリオの実例紹介」を一つにまとめて行う方向とした。

② 実施状況

a 実施内容

- ・学習ポートフォリオへのmanabaの活用事例紹介
- ・アクティブラーニングの実例紹介
- ・アクティブラーニングの定義に関する文献調査
- ・アクティブラーニング実態調査アンケートの調査結果報告

SD活動について、昨年度は全学的に次の研修等を実施した。

○「平成29年度 全学職員研修・業務別研修」(平成29年8月22日)

全学職員研修テーマ：“東北学院の将来構想と職員が果たす役割の変化”

業務別研修については、全学研修テーマに基づき部署ごとに計画を策定したうえ、部署ごとに実施した。

#### b 実施方法

平成30年2月21日(水) 16:00-17:30 に、工学部FD研修会を開催し、3題の講演及び1題の報告 に対して質疑応答を行った。

1. 学習ポートフォリオへのmanabaの活用事例紹介・・・物部寛太郎(情報基盤工学科)
2. アクティブラーニングの実例紹介・・・松浦 寛(機械知能工学科)
3. アクティブラーニングの実態調査について
4. アンケートの調査結果報告

#### c 開催状況(教員の参加状況含む)

参加教員数は28名 で、そのうち情報基盤工学科専任教員の出席比率は32.1%であった。e-ラーニングシステムmanabaの機能及び具体的な活用事例に関する内容だったため、活発な質疑応答が行われた。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- FD研修の成果を、次の方策により授業改善へ活かすことにした。
- ・FD研修会で得た知識とスキルを各教員が担当する授業に活かし、単位の実質化に反映させる。
  - ・manaba を用いたアクティブラーニング型授業の展開を推し進める。
  - ・manabaを活用して事前・事後学習の浸透を図るとともに、学習成果の可視化を行っていく。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

授業改善のための学生アンケートの目的は授業改善にあり、授業に対する学生からの声に基づいて担当教員が自らの授業をより良いものにするために実施している。授業評価については、「授業改善のための学生アンケート」実施委員会を設置し、「授業改善のための学生アンケート実施要項」に従って、専任及び非常勤教員の別なく、全ての講義科目で原則として各学期の授業の最終週ないしその前週に、「授業改善のための学生アンケート」を実施している(資料2「東北学院大学 授業改善のための学生アンケート」実施委員会規程)。平成29年度についても、前期は7月11日以降2週間以内、後期については12月15日以降2週間以内に実施した。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの質問項目は次のとおりである。

- (1) 受講生自身についての自己評価(出席回数及び受講態度の自己評価)

#### (2) 授業評価

- ① 授業計画(シラバス)についての評価
- ② 授業内容(目的の明示化、理解度、関心喚起度)についての評価
- ③ 教員(発話の明瞭度、熱意度、準備の充実度、資料提示の充実度)についての評価
- ④ 総合評価に関するアンケート

評価については項目別に5段階評価と4段階評価がある。さらに、自由記述欄を設けて受講生の所見を記述させている。

アンケート結果の活用方法・公開状況は次のとおりである。

- ① アンケートは集計後に統計処理され、自由記述も含めて科目担当者に個別通知している。
- ② 全体結果は、設問別の調査結果とコメント及び資料にまとめて冊子体の形で『「授業改善のための学生アンケート」結果報告書』として公刊している。全教員に配布するとともにホームページに公開し、学生閲覧用に各キャンパスの図書館及び教務課・学務係窓口に配置している。(http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/school/enquete.html)
- ③ 個別科目の授業評価結果も同様に、学生閲覧用に各キャンパスの図書館及び学務係窓口に配置している。
- ④ 平成27年度より、個別科目の評価結果に応じて、一定基準を上回る優秀教員には学長が表彰を行い、一定基準を下回る教員には学部長宛の改善報告書提出を義務付けている。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

「授業改善のための学生アンケート」の結果については、次の学期の授業開始前に担当教員に返却している。各教員はこのことにより、その結果を自らの授業改善に資するように活用することとなっている。また、「授業改善のための学生アンケート」実施委員会は、アンケートの実施状況及びその評価結果をまとめ『「授業改善のための学生アンケート」結果報告書』として公刊している。これを全教員に配付するとともに、大学ホームページに公開し、学生閲覧用に各キャンパスの図書館及び教務課学務係窓口に配置している。個別科目のアンケート結果も同様に、学生閲覧用に各キャンパスの図書館及び教務課学務係窓口に配置している。また、個別科目のアンケート結果は各学部長にも配付して、アンケート結果の低い教員には改善報告書の提出を義務付けている。

教育学科の平成30年度開講の授業についても、上記と同様の対応をすることになっている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>情報基盤工学科の教育上の理念・目的は「社会基盤となる情報・通信工学技術を発展させ、人類の福祉に応用するという工学の使命に基づき、これらの原理を数学の基礎から徹底して学び、変化の激しいICT (Information Communication Technology) 分野において未来を切り拓くことのできる技術者を育てることを理念及び目的とする。さらに、技術者としての倫理観を備え、幅広い教養力に支えられた確かな人間力と、展開が速い情報化社会に確実に追従できる情報インフラ技術者を養成するものである。」としている。</p> <p>これを踏まえて1年次配当科目は徹底した数学基礎の修得を目指したカリキュラム構成になっており、講義の運営についてもSA (Student Assistant) を採用するなど充実度の向上を図っている。これら数学科目の単位取得率に着目すると、「線形代数学」(88.7%)、「微積分学Ⅰ」(85.3%)、「微積分学Ⅱ」(94.0%)、「情報数理演習Ⅰ」(95.7%)、「情報数理演習Ⅱ」(85.3%)、「情報数理演習Ⅲ」(93.1%)、「応用線形代数学」(85.3%)、「応用線形代数学演習」(94.8%)となっており、情報基盤工学科設置の趣旨・目的が学生にも十分に理解され、浸透しているといえる。</p> <p>また、教育の効果については、線形代数などは他学科と比較しても学力が優位であるという結果が得られている。一方で、微積分学についてはわずかではあるが、やや劣る結果が見受けられる。これに対し、1年生の1年間を通じた教育の結果として、微積分学を扱う「情報数理演習Ⅱ」(前期開講)と「情報数理演習Ⅲ」(後期開講)を比較すると、平均点が74.0点から80.5点へと向上しており、統計的分析においても有意な差がみられ、教育による学力の向上が確認される。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>東北学院大学における点検・評価は、平成4年に制定された「東北学院大学点検・評価に関する規程」に基づき原則として3年ごとに実施している。情報基盤工学科については、平成29年4月に開設されたため、現時点では自己点検評価活動を行っておらず、報告書も作成・発表されていない。</p> <p>a 公表(予定)時期</p> <p>・平成28年度の点検・評価報告書については平成29年5月10日に大学ホームページに公表済みであるが、文学部教育学科を含む報告書は、2020年度末に公表する予定である。</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページに『点検・評価報告書』を公開する予定である。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成29年度に大学基準協会の認証評価を受審し、平成30年3月28日付で大学基準に適合していると認定された。認定の期間は、2018年4月1日～2025年3月31日の7年間である。したがって、次の認証評価の受審は2025年度を予定している。 (<a href="http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/evaluation/cert_04.html">http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/evaluation/cert_04.html</a>)</p>
---

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表(予定)の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月29日)</p>
---

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

○東北学院大学FD推進委員会規程

平成15年12月22日制定第14号

## 改正

平成16年4月1日

平成17年4月1日

平成20年4月1日

平成29年3月22日改正第66号

東北学院大学FD推進委員会規程

(設置)

**第1条** 東北学院大学点検・評価に関する規程第8条に基づき、東北学院大学点検・評価委員会の下に、東北学院大学FD推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

**第2条** 委員会は、東北学院大学における教育方法の改善を図るため、各学部・学科、各研究科・専攻及び個々の教員の教育活動を支援することを目的とする。なお、本規程においては、上記の目的にしたがい、教育方法の改善を図る活動を、「ファカルティ・ディベロップメント（FD）」（以下「FD」と表記する）と呼ぶ。

(審議・検討事項)

**第3条** 委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議・検討し、その実施にあたる。

- (1) 各学部・学科、各研究科・専攻におけるFDへの取り組み状況を相互に報告し、意見を交換すること。
- (2) FDに関する情報を収集して分析し、情報及び分析によって得られた知見を、各学部・学科、各研究科・専攻及び個々の教員等に提供すること。
- (3) FDに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
- (4) その他FDに関すること。

2 委員会は、関係各組織に対し、可能な範囲で、前項に掲げる事項の審議・検討に必要な資料の提出を要請することができる。

3 委員会は、その活動を、年度ごとに点検・評価委員会に報告するものとする。

(組織)

**第4条** 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学務担当副学長及び点検・評価担当副学長
- (2) 各学部から1名ずつの教員
- (3) 各研究科から1名ずつの教員
- (4) 教育研究所長
- (5) 学務部長

2 委員会に委員長を置く。

3 委員長は、学務担当副学長をもって充てる。

4 委員会は、必要に応じて、委員以外の者の出席を求めることができる。

5 委員会は、必要に応じて、小委員会又は作業部会を設けることができる。

(開催及び定足数)

**第5条** 委員会は委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が議長となる。

2 委員長は、委員総数の3分の1以上の委員の要請がある場合は、速やかに委員会を開催しなければならない。

3 委員会の開催は、委員の過半数の出席を必要とする。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

(任期)

**第6条** 各委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務)

**第7条** 委員会の事務は、学務部教務課がこれを行う。

(改廃)

**第8条** この規程の改廃は、点検・評価委員会が発議し、教授会及び大学院委員会の議を経て学長が行い、理事会の承認を得るものとする。

**附 則**

1 本規程は、平成15(2003)年12月22日から施行する。

2 第6条第1項の規定にかかわらず、平成15(2003)年度に選出された委員の任期は、平成18(2006)年3月末日とする。



**附 則**（平成16年4月1日）

本規程は、平成16(2004)年4月1日から施行する。

**附 則**（平成17年4月1日）

本規程は、平成17(2005)年4月1日から施行する。

**附 則**（平成20年4月1日）

本規程は、平成20(2008)年4月1日から施行する。

**附 則**（平成29年3月22日改正第66号）

この規程は、平成29(2017)年4月1日から施行する。

○東北学院大学「授業改善のための学生アンケート」実施委員会規程

平成18年4月1日制定第4号

改正

平成22年6月1日

平成26年7月30日改正第67号

平成27年3月25日改正第38号

平成27年9月30日改正第86号

平成29年1月11日改正第11号

平成29年3月22日改正第67号

東北学院大学「授業改善のための学生アンケート」実施委員会規程

(設置)

**第1条** 東北学院大学点検・評価に関する規程（平成17年4月1日制定第11号）第8条の規定に基づき、東北学院大学点検・評価委員会（以下「点検・評価委員会」という。）の下に、東北学院大学「授業改善のための学生アンケート」実施委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

**第2条** 委員会は、東北学院大学における教育方法の改善に資するため、「授業改善のための学生アンケート」（以下「アンケート」という。）を実施し、その結果を活用することを目的とする。

(審議・検討事項)

**第3条** 委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を審議・検討し、その実施に当たる。

- (1) アンケートに関する基本方針に関すること。
- (2) アンケートの実施に関すること。
- (3) アンケートデータの集約及び分析及びその結果の関係機関への提供に関すること。
- (4) アンケート結果に関する報告書の作成及び情報公開に関すること。
- (5) アンケート結果に基づく授業改善の勧告及び意見に関すること。
- (6) その他アンケート実施とその結果の活用に必要なこと。

2 委員会は、その活動を年度ごとに点検・評価委員会に報告するものとする。

(組織)

**第4条** 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学務担当副学長及び点検・評価担当副学長
  - (2) 各学科から1名ずつの教員
  - (3) 学務部長
- 2 委員会には、次に掲げる事務職員を陪席させるものとする。
- (1) 学務部教務課長
  - (2) 学務部学事課長
  - (3) 学長室学長室事務課長
  - (4) 情報システム部情報システム課長
  - (5) 前各号の陪席者の業務遂行を補佐する事務職員 若干名
- 3 委員会は、必要に応じて前2項に定める以外の者の出席を求めることができる。
- 4 委員会は、必要に応じて小委員会又は作業部会を設けることができる。

(役職)

**第5条** 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、点検・評価担当副学長をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 4 委員長は委員会の活動を統括し、副委員長は委員長を助ける。

(開催及び定足数)

**第6条** 委員会は委員長が招集し、議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、副委員長が議長となる。

- 2 委員長は、委員総数の3分の1以上の委員から要請がある場合は、速やかに委員会を開催しなければならない。
- 3 委員会の開催は、委員の過半数の出席を必要とする。
- 4 委員会の議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

(委員の任期)

**第7条** 第4条第1項第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員が欠けたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務)

**第8条** 委員会の事務は、学務部学事課において処理する。

- 2 大学外の評価機関による評価が行われる場合には、学務部学事課と学長室学長室事務課が連携協力し、対応するものとする。

(改廃)

**第9条** この規程の改廃は、点検・評価委員会が発議し、教授会及び大学院委員会の議を経て学長が行い、理事会の承認を得るものとする。

**附 則**

この規程は、平成18(2006)年4月1日から施行する。

**附 則** (平成22年6月1日)

この規程は、平成22(2010)年6月1日から施行する。

**附 則** (平成26年7月30日改正第67号)

この規程は、平成26年7月30日から施行し、平成25年10月1日から適用する。

**附 則** (平成27年3月25日改正第38号)

この規程は、平成27年3月25日から施行し、平成26年12月26日から適用する。

**附 則** (平成27年9月30日改正第86号)

この規程は、平成27年9月30日から施行する。

**附 則** (平成29年1月11日改正第11号)

この規程は、平成29年1月11日から施行する。

**附 則** (平成29年3月22日改正第67号)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。